

第4回 瀬戸内海観光連携推進会議 (取組報告)



平成28年10月21日

◆平成23年7月8日設立（広島県広島市）

平成24年の大河ドラマを契機に、瀬戸内海の観光活性化について、運輸局間の広域連携を図っていくため、中国運輸局長の呼びかけにより、同局と神戸運輸監理部、四国運輸局のトップで構成する「平清盛」瀬戸内連携推進会議を設立。

◆平成23年度 第2回本会議:平成23年11月14日(兵庫県神戸市)

新たに近畿運輸局、九州運輸局が加わり、地方運輸局の「西日本連携組織」として施策を推進。

主な取り組み

- 「平清盛」関連広報情報の収集・発信環境の構築(HPなど)
- 「平清盛」ゆかりの地相互PRの推進及び瀬戸内広域マップの作成
- 小型船を活用した瀬戸内広域クルーズのモニターツアー実施

～瀬戸内地域を舞台により広域かつ一体となって～

◆平成24年度 第3回本会議:平成24年11月29日(兵庫県神戸市)

主な取り組み

- せとうちサイクルーズPASSの実施エリア広域拡大
- 瀬戸内クルーズ推進セミナー開催
- 九州～関西広域インバウンド促進事業(VJ事業)の実施
- 寄港地紹介マップによる情報発信
- クルーズ客船による瀬戸内広域クルーズの誘致・瀬戸内クルーズシンポジウムin神戸共催



◆平成25年度 第1回本会議:平成25年6月2日(サンフラワー船内)

平成24年末をもって大河ドラマの放映終了に伴い、観光振興の活性化に向けた取り組みを継続するため、会議の名称を「瀬戸内海観光連携推進会議」に変更。引き続き、瀬戸内海の観光振興を図るため、**観光宣言**を採択。

主な取り組み

- 瀬戸内海モデルコース構築調査事業
- クルーズおもてなし実地研修
- せとうちサイクルーズPASSの認知度向上及び発行地域の拡大
- 寄港地データ情報の拡大及び発信



瀬戸内観光宣言

「瀬戸内海観光連携推進会議」は、瀬戸内海が古来より我が国の歴史・文化・産業の発展を育み、また、瀬戸内海の有する風光明媚な景勝地や島々、趣ある町並みや郷土料理が、大きな観光資源となり得るものと認識、瀬戸内海の良質な観光資源を活かした観光の振興が、魅力ある地域づくり、地域経済の活性化、ひいては我が国の発展や生活の向上に繋がると考える。瀬戸内海は日本最初の国立公園として指定を受け、来年は80周年を迎える中、今後も関係行政機関、交通・観光事業者等関係の方々と連携しながら、以下の取り組みを行う。

- 一. 映像等を用いた国内外に向けた瀬戸内海の魅力発信
- 一. 歴史・文化等を活用した瀬戸内の島の魅力の磨き上げ
- 一. 既存航路の活性化及びこれらの航路を活用した観光周遊モデルコースの設定及び広報宣伝
- 一. 大型クルーズ船による、近畿から九州エリアに立ち寄る瀬戸内広域クルーズの誘致
- 一. 観光旅行者受入地におけるおもてなし気運の醸成

◆平成26年度 第2回本会議:平成26年10月31日(広島県廿日市市宮島)

主な取り組み

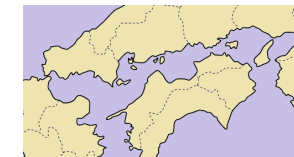
- 映像を用いた国内外に向けた瀬戸内海の魅力発信
- クルーズセミナー
- クルーズおもてなし実地研修
- 瀬戸内海モデルコースの評価・検証・発信
- せとうちサイクルーズPASSの利用促進・英訳文の作成



◆平成27年度 第3回本会議:平成27年12月4日(香川県仲多度郡琴平町)

主な取り組み

- 映像を用いた国内外に向けた瀬戸内海の魅力発信
- クルーズセミナー
- 島々に活躍する観光ガイドの実態把握・発信
- せとうちサイクルーズPASSの利用促進
- 「海の時刻表」(拡大版)の作成



◆平成28年度 第4回本会議:平成28年10月21日(広島県福山市)

主な取り組み

- クルーズセミナー(瀬戸内クルーズセミナーin姫路 11月開催予定)
- せとうちサイクルーズPASSの利用促進(訪日外国人の利用拡大を図るため、利用案内マップの英語版配布)
- 瀬戸内クルーズ寄港地紹介マップによる情報発信

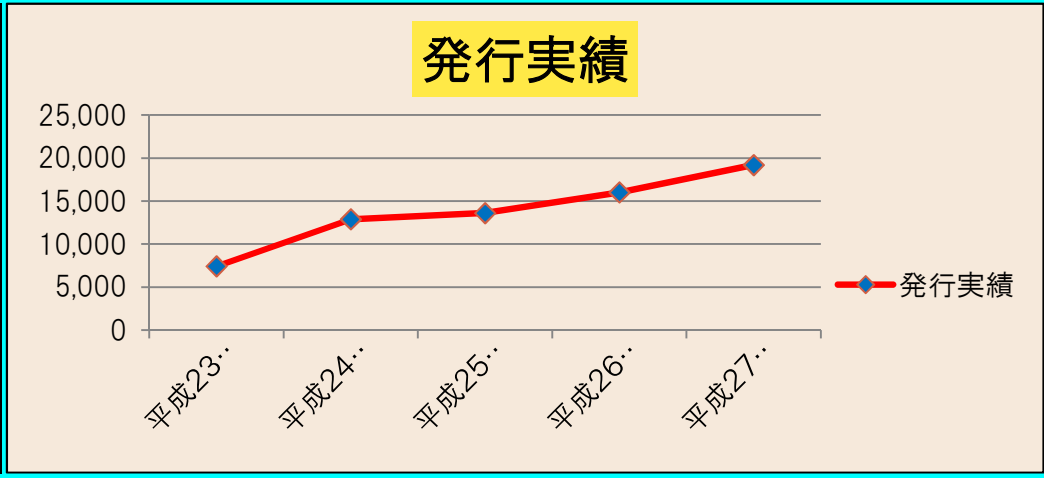


「せとうちサイクルーズPASSへの取り組み」

自転車観光客を対象にフェリー等の運賃割引をする「せとうちサイクルーズPASS」は、23年度の導入以降、対象エリアの拡大を図り、パス発行実績は年々着実に増加している。瀬戸内海のサイクリングは、今後、外国人にとって人気が高まると思われることから、平成27年度から外国人向けにパス及び利用案内マップの英語版配布を開始し、外国人旅行者への利用を促進している。

※対象航路数等：平成23年度：28航路（27事業者）
 ※PASS発行実績（PASS発行場所 17ヶ所） → 平成28年度：40航路（40事業者）
 （PASS発行場所 34ヶ所）

年 度	発行実績	対前年度比	特記事項
平成23年度	7,424枚		
平成24年度	12,891枚	173.6%	「広島・山口・愛媛エリア」, 「兵庫・岡山・香川エリア」 拡大
平成25年度	13,608枚	105.5%	
平成26年度	16,018枚	117.7%	
平成27年度	19,192枚	119.8%	



外国人への利用拡大を促進

※パス及び利用案内マップの英語版作成

- 掲載内容
- ・対象航路(区間)
 - ・パス発行所
 - ・レンタサイクル
 - ・観光案内所



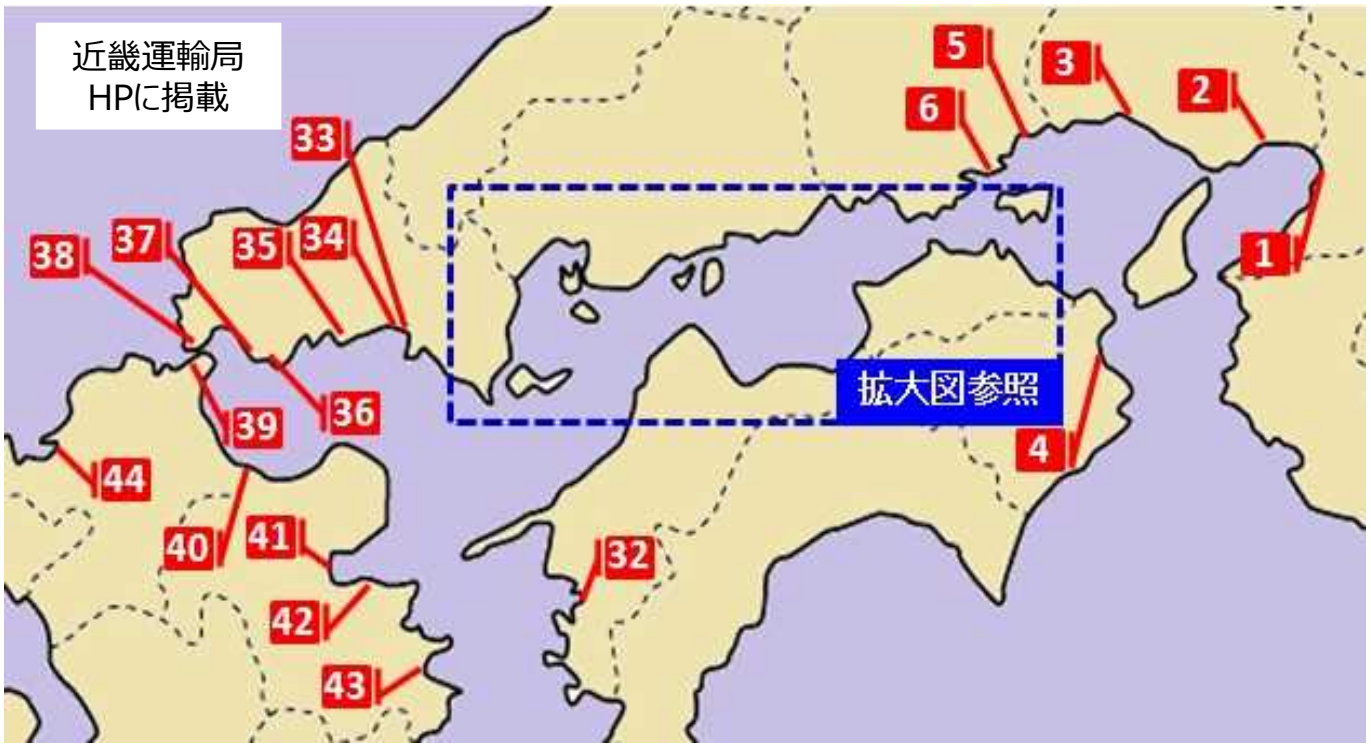
※参考

(一社)中国旅客船協会は、平成28年4月1日付けで「サイクルーズPASS」の商標登録をした。

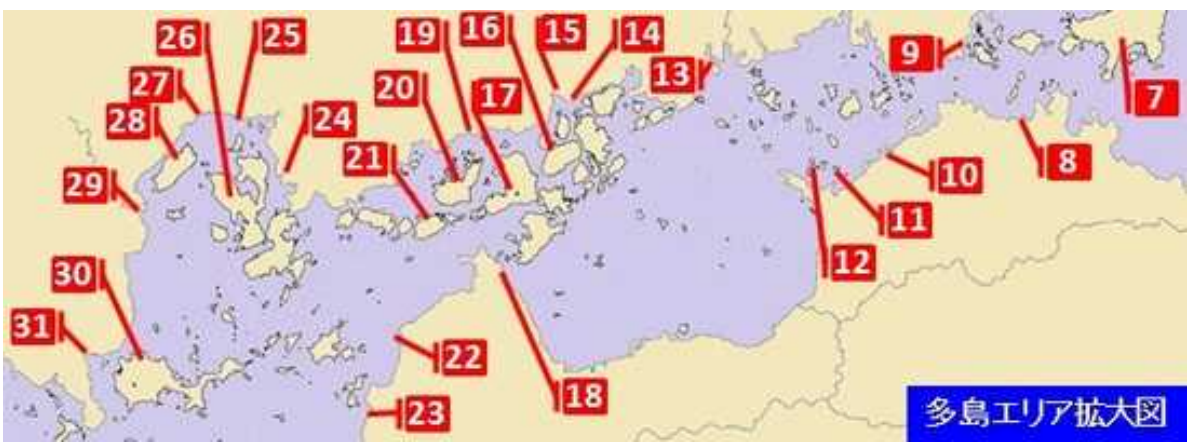


瀬戸内海 各港における寄港地マップの作成・発信

瀬戸内海各港へのクルーズ客船寄港の一助として、船社向けに、各港の岸壁規模、観光地、受け入れ体制、自治体の相談窓口等を紹介する情報ツール。平成24年11月のHP掲載以降、掲載港湾数を拡大。



N	地域・港の名称	N	地域・港の名称
1	大阪港	26	江田島・能美島
2	神戸港	27	広島港:五日市地区
3	姫路港	28	廿日市市 宮島
4	徳島小松島港	29	岩国港
5	備前市日生港	30	屋代島
6	牛窓港	31	柳井市
7	香川県小豆島町	32	宇和島港
8	高松港	33	徳山下松港
9	宇野港	34	徳山港
10	丸亀港	35	防府市 三田尻中関港
11	三豊市 志々島	36	宇部港
12	三豊市 粟島	37	小野田港
13	福山港, 鞆の浦	38	下関港
14	尾道糸崎港(糸崎地区)	39	門司(北九州港)
15	尾道港(尾道糸崎港)	40	中津港
16	生口島	41	別府国際観光港
17	大三島	42	大分港
18	今治港(葦敷地区)	43	佐伯港
19	竹原市	44	博多港
20	広島県大崎上島町		
21	大崎下島(呉市豊町御手洗港)		
22	北条鹿島		
23	松山港		
24	呉市川原石港		
25	広島港:宇品地区		



今後の取組の方向性
 現在、本省のクルーズに関するHPにリンクできるように、検討中。

瀬戸内海 各港における寄港地マップの作成・発信

瀬戸内クルーズ寄港地紹介 ※瀬戸内海観光連携推進会議 実施調査による

神戸港	～瀬戸内クルーズの玄関港～
セールスポイント:	あらゆる客船に対応可能な充実したターミナル施設 市街地や主要な観光スポット、空港への優れたアクセス

(注) ※印のある項目の情報について確認されたい船社様は、運輸局または神戸運輸監理部までお問い合わせください。
お問い合わせ先については瀬戸内海観光連携推進会議HP(近畿運輸局HP内)をご確認ください。

1	地域の概要	人口(島のみ)	
		主な産業	
2	おもてなしの窓口 (観光・歓迎行事等)	組織名	神戸市みなと総局みなと振興部
		住所	神戸市中央区加納町6-5-1
3	入港に係る相談窓口 (入港料等の窓口)	組織名	神戸市みなと総局みなと振興部
		住所	神戸市中央区加納町6-5-1
4	ご当地自慢 (自然中心)	最大の自慢は	(通年) 六甲山・摩耶山と1,000万ドルの夜景(日本三大夜景)、 神戸ビーフ、山・街・海のコンパクトなロケーション、 有馬温泉(日本最古泉の一つ) (春) 神戸まつり (夏) みなとことうべ海上花火大会 (秋) 神戸JAZZストリート、神戸マラソン (冬) 神戸ルミナリエ、 KOBELOMANチェックフェア(市内各所でのイルミネーションイベント)
		景観(花、紅葉等を含む)	(春) 桜(王子動物園、須磨など) (夏) あじさい(六甲山、森林植物園など) (秋) 紅葉(有馬、六甲山、須磨など) (冬) 神戸ルミナリエ
		食(料理・食材)	神戸ビーフ 灘の酒・神戸ワイン 神戸スイーツ・パン 洋食 中華、インド等、豊富な種類のエスニック料理 神戸ウォーター

5	ご当地自慢 (文化、歴史中心)	文化・芸能	(春) インフィオラータこうべ(花びらで制作した巨大花絵) (夏) 須磨薪能 (秋) 神戸ビエンナーレ(2年に1回開催)、神戸ジャズストリート、神戸マラソン (冬) 有馬温泉入初式
		お祭り・花火	(春) 神戸まつり (夏) みなとことうべ海上花火大会 (秋) 南京町中秋節、KOBELOMANの日・KOBELOMAN観光ウィーク (冬) 神戸ルミナリエ、南京町春節祭
		体験型観光メニュー	(春) 明石海峡大橋ブリッジワールド、六甲山牧場(チーズ作り、ヨーグルト作りなど) (夏) 六甲山周辺(オルゴール組立、植物園散策など) (秋) 北野界限のJAZZ (冬) 北野工場のまち(和ろうそく作り、豚まん作り)
		観光施設	市内多数あり
		産業観光	灘の酒蔵見学、明石海峡大橋(舞子海上プロムナード、橋の科学館)、北野工場のまち、カワサキワールド(川崎重工)、UCCコーヒー博物館 など
6	おもてなし (歓迎行事)	町歩き	北野異人館街、旧居留地、南京町(中華街)、メリケンパーク、兵庫の津
		入港歓迎行事の有無・内容	あり() なし <input type="checkbox"/> 応相談
		お見送り行事の有無・内容	あり() なし <input type="checkbox"/> 応相談
		その他自慢のおもてなし	—
		地元との触れ合いイベントの有無	—
7	受入体制等	観光ガイド手配の可否	(日本語) 可 ・ 否 ※ターミナル内において観光案内所開設 (英語) 可 ・ 否 ※ターミナル内において観光案内所開設
		おもてなしに協力いただける幼稚園 小学校の校数、児童・生徒の人数	幼稚園: 校 人 小学校: 校 人 中学校: 校 人 <input type="checkbox"/> 応相談
		受入可能な最大人数	特になし
		宿泊施設	多数あり
		料飲施設	多数あり
7	受入体制等	地域交通	飛行機・電車・バス・ループバス
		沖停泊に係る対応海上保安部	—
		沖泊地に係る漁協	—
		外国人対応への配慮	あり(臨時観光案内所、両替所開設)

5 局連携クルーズセミナーの開催

「クルーズセミナー・おもてなし実地研修」は、瀬戸内海への大型クルーズ客船の寄港を促進するとともに、寄港時の通船の活用、魅力的な体験メニューの整備、乗客の歓迎方法等について、地域がノウハウを蓄積することを目的として実施。

平成24年度 瀬戸内クルーズセミナー

- ◇日 時 平成24年10月10日(水) 14:00~17:00
- ◇場 所 中国運輸局
- ◇出席者 約130名
- ◇内 容 (講演・パネルディスカッション)
 - ①「客船クルーズの時代が幕を開ける」
大阪大学大学院教授 赤井 伸郎氏
 - ②「乗客・船社が寄港地に求めるもの」
商船三井客船船舶(株) 宇野 修一氏
 - ③パネルディスカッション
「クルーズによる地域活性化」



平成25年度 瀬戸内クルーズセミナー・おもてなし実地研修

- ◇日 時 平成25年10月15日(火) 13:30~17:00
- ◇場 所 福山市鞆
- ◇出席者 約70名
- ◇内 容 (講演・パネルディスカッション)
 - ①「クルーズ船社が寄港する地域に求めるものについて」
日本クルーズ客船(株) 嶽尾 昌徳氏
 - ②「ぱしふいっくびいなす」初寄港の対応について
福山市建設局 山名道雄氏
 - ③パネルディスカッション
「実例から考えるクルーズ寄港」
登壇者 クルーズ船社、自治体
他、クルーズに関する個別相談会、おもてなし実地研修



平成26年度 瀬戸内クルーズセミナー・おもてなし実地研修

- ◇日 時 平成26年11月17日(月) 13:30~17:45
- ◇場 所 海峡メッセ下関・国際会議場
- ◇出席者 約80名
- ◇内 容 (講演・パネルディスカッション)
 - ①「クルーズ船誘致に向けた山口県の取り組み」
山口県 産業戦略部 小玉次長
 - ②「飛鳥クルーズと寄港地への要望」
郵船クルーズ株式会社 村山運航部長代理
 - ③パネルディスカッション
クルーズ船社と自治体等との個別相談会



平成27年度 瀬戸内クルーズセミナー・おもてなし実地研修

- ◇日 時 平成27年10月27日(火) 13:10~18:00
- ◇場 所 神戸海洋博物館ホール
- ◇出席者 約100名
- ◇内 容 (講演・パネルディスカッション)
 - ①「神戸開港150年を迎える神戸港のクルーズ客船誘致、おもてなしの取り組み」
神戸市 みなと総局 山村 昭氏
 - ②「埠頭での免税販売と おもてなし」
境港管理組合 港湾管理委員会 丹田 昭浩氏
 - ③パネルディスカッション
クルーズ船社と自治体等との個別相談会



瀬戸内クルーズセミナーin姫路

日時:平成28年11月15日(火)
13:00~17:00予定

会場:姫路市民会館第2会議室(中ホール)

参加費:無料(交流会は負担あり)

主催:瀬戸内海観光連携推進会議

共催:姫路市、関西クルーズ振興協議会、
中国地方クルーズ振興協議会、
九州クルーズ振興協議会

後援:(一社)せとうち観光推進機構、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会



プログラム

[第1部]

① 地元自治体報告

「姫路港のクルーズ客船誘致を目指す取り組み」(姫路市)

② 講演

「瀬戸内海エリアの観光活性化について」
(両備グループ代表兼CEO 小嶋光信氏)

③ 船社プレゼン

郵船クルーズ株式会社、商船三井客船株式会社、日本クルーズ客船株式会社、
株式会社カーニバル・ジャパン、株式会社ミキツアーリスト、マーキュリートラベル
株式会社、コスタ・クルーズ株式会社



[第2部]

④ クルーズに関する個別相談会(参加船社別ブース形式)

参加船社:郵船クルーズ株式会社、商船三井客船株式会社、
日本クルーズ客船株式会社、株式会社カーニバル・ジャパン、
株式会社ミキツアーリスト、マーキュリートラベル株式会社、
コスタ・クルーズ株式会社
★瀬戸内クルーズの観点から小嶋光信氏のブースも設置

前回のセミナーの様子(平成27年 神戸)



前回のセミナー出席者に行ったアンケート内より コメント抜粋

○セミナーの感想

「個別相談会はいい事業です。」
「港湾施設等の視察会があればいい。」
「特に船社からの情報が有意義でした。」
「他都市の取り組みを聞くことができ、参考になりました。」など

○瀬戸内クルーズを推進するために必要な事は? (個別設問)

「瀬戸内海のクルーズ振興のポイントとして、小型船が適するとの指摘は大切だと思う。この場合、船を作る側の意見が聞きたかった。パネルディスカッションに造船の参加が無かったのが残念でした。」
「港と港・市町の連携が重要と思います。」など